前橋 Maebashi バレルヤフ"ックセンター

発 行▶前橋ハレルヤブックセンター支援委員会

電 話▶027-212-8505 FAX▶027-212-8508

E-mail ▶ halellujah2019@gmail.com ホームページ▶ http://maebashi-hallelujah.net/

vol.9 2023年2月

"ことは"は人となって

信仰良書を読むことは、私たちの信仰の成長にとって大きな助けになりますが、単なる知識としてだけでなく、読み手の中で行動となって本来の意味を持つのではないでしょうか。

身体と話すことのご不自由な 女性が日曜日の礼拝に出席して

いました。いつも素敵な微笑みで、礼拝の雰囲気を明るくしてくれました。ある日、彼女がお腹の強い痛みで入院したことを聞きました。その頃、私も体調を崩しており彼女ために祈っていました。

二か月後、退院してきた彼女に会うと、私を見るなり 大きな声で何かを叫び始めたのです。顔を真っ赤にして、 必死に叫んでいるその姿を見て、「痛かったんだね」「大 変だったね」と声を掛けました。しかし、ますます大き な声で叫ぶので、体調を心配して離れようとする私を 職員が制止しました。再度集中して聞くうちに、彼女の 叫びの内容が分かってきたのです。「せ・ん・せ・い」。 そして、そのあと聞き取れた言葉にハッとしました。「だ い・じょうぶ・で・す・か」。彼女は痛みの中で私の体 調不良を聞き、ずっと案じてくれていたのです。だから



退院して最初に会ったときのことばが「痛かった」ではなく「大丈夫ですか」だったのです。私は他者のためにこんなに必死に、ある意味命がけで「ことば」を語ったことがあっただろうかと考えさせられました。

ナイチンゲールは「人の思い

は、言葉に変わることで無駄にされているように、私 には思えるのです。それらは皆、結果をもたらす行動 に変わるべきものなのです。」と言いました。

ヨハネは「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた」(ヨハネ I:14) と言います。神のことばであるイエス様は、人となって罪人の世界に来られ、贖いを成し遂げてくださいました。そして、彼女の叫ぶことばは、具体的な行動となって愛が表明されたのです。

心を込めて紡がれた数々の本は、私たちの中で行動となって実を結び、初めて著者の意図は完成するのではないでしょうか。一冊一冊の「ことば」を大切にしたいと思います。

あけぼのコミュニティー教会主管牧師

櫻井 実



どう活用していますか?

略

約5分の YouTube 動画でキリスト教書籍やグッズを紹介し、実際にお届けまでをプランニングする"オ ンライン文書伝道デー"『ぶんでん』。 現在群馬県の20教会が登録しています。

今回は、実際に教会で『ぶんでん』を活用していらっしゃる日本同盟基督教団「高崎福音キリスト教会」 の坂本美恵子先生にお話を伺いました。(以下黒字:美恵子先生/青字:編集者)



早速ですが、実際に『ぶ んでん』をどのように上 映されていますか?

礼拝後すぐにプロジェク ターで『ぶんでん』を上映 しています。福島店長やびぶ んでん』動画担当者も言っ

ているように「5分で済む」ということをアピールして、 皆さんが礼拝後席を立ちあがってしまう前にすかさ ず、上映を始めます。

すかさず(笑)大切なポイントですね。

上映は、美恵子先生がなさっているのですか?

私たちの教会には、『ぶんでん』の係をしてくださって いる方がいるので、上映はその方がやってくださいます。

『ぶんでん』係の方がいらっしゃるんですか! それはいいですね~

はい。書店から送られる毎月の『ぶんでん』リンクも、 係の方のメールアドレスに届き、新しいリンクが届いたら、 すぐ次の日曜日の礼拝に上映できるように準備してくだ さいます。『ぶんでん』の上映がある日は、週報でも案 内するんですよ。

週報に載っていると、皆さんも心づもりができますね。

上映後はどのような流れですか?

係の方が「私もこれを注文したいと思います」なんて コメントをつけて、さらに注文受付のアナウンスをして くださいます。だいたいその場で注文していく方が多 いです。それを私が取りまとめて、翌日月曜日に書店 に注文すると、もう木曜日には届くので、翌週の日曜 日には注文された方に本をお届けできるんです。

素晴らしいチームワークですね!

『ぶんでん』をはじめてよかったということがあった ら教えてください。

教会員の方で書店に足を運びたいという思いがあって も、実際には出向くのが難しかった方々が、『ぶんでん』 を通して、お一人おひとりが本とつながることができ るようになり、とてもよかったなと思います。

……横でお話を聞いていた福島店長、「そのために 書店をはじめたといっても過言ではないので嬉しい

です!」と感涙……

動画の最初と最後に福島店 長のがんばっている姿が見 られるのも、前橋ハレルヤ ブックセンター『ぶんでん』 のいいところですよ(笑)



坂本誠先生,美恵子先生



引き続きお申込みを承っております。 登録料無料!

ぜひ、オンライン文書伝道デー『ぶんでん』ご利用ください。

この春もさまざまなシーンで本との出会いをお手伝いします



十字架と復活を想う書籍、 集めました!

3月にはイースターフェア開催! 特典付おハガキでご案内します



ディボーション BOOK 日々の生活にみことばを。



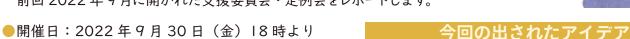
こんなことやってます!!

前橋ハレルヤブックセン

前橋ハレルヤブックセンター(以下 HBC)の支援委員会は、2019 年書店開店 と同時に発足し、以来書店の働きを支援しています。

支援委員会の大きな働きは、今ご覧いただいているニュースレターを発行するこ とです。そして、もう一つ、会則に基づいて年2回、9月と2月定例会が開かれ ます。この定例会では、書店の活性化に向けて、さまざまな教会・立場から地域 の文書伝道を考える機会となっております。

前回 2022 年 9 月に開かれた支援委員会・定例会をレポートします。



- 冠婚葬祭のお返しなどにキリスト教書籍や用品を利用 して頂けるようアピールしてはどうか。
- をアップしてアピールするのはどうか。→その後すぐ に実行 HBC インスタをはじめました!
- て、SNS で配信してはどうか。
- ●三浦綾子の特集がよかった。
- 本を語る会をおこなってはどうか。

などなど、毎回たくさんのアイデアが出され、また一 いきます。

- ●今はインスタの時代!書店の書籍の様子や営業案内
- HBC オリジナルの書籍の読み聞かせ音源を作成し
- ●せっかくだから、その音声データをQRコードにして、 ニュースレターにも掲載し、読み取れるようにするの はどうか。
- ●引き続き、星野富弘さん、八木重吉さんなどの特集や、

つの案がキャッチボール式にどんどん大きく膨らんで

●福島店長より書店報告。

●支援委員会報告。会計報告や新規加入報告がされ ます。

●会場:福音伝道教団前橋キリスト教会の礼拝堂

さっている桜井先生がご担当でした。

●奨励:今回ニュースレターの巻頭言を書いてくだ

●審議:出席者の自己紹介を交え ながら意見・要望・文書伝道推進 のアイデアなどを出し合います。

●出席者: 14名(福島店長含む)

いろんな方との出会 いも、定例会の楽しみの ひとつです。



支援委員会から ご協力のお願い

このニュースレターは、前橋ハレルヤブックセンター支援委員 会への献金で発行されております。今後の継続に向けて、皆 さまからのご支援・ご寄付をよろしくお願いいたします。また、 支援委員会に加入してくださる教会・施設・企業等も引き続き 募集しております。ぜひご協力ください。

口座名

前橋ハレルヤブックセンター支援

振込先

高崎信用金庫 前橋支店 普通 2226929

あなたも支援員会定例会に参加してみませんか?

年2回の定例会は、加入団体・教会の皆さまはもちろ んのこと、まだ委員会に加入していない牧師及び教会員 の方々の出席も歓迎しています。

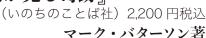
多くの方が出席されることがスタッフ一同にとっても 大きな励みとなりますので、ぜひご参加ください!

(詳しくは書店まで)



vol.9 おきぎめの本、 数えてください。

『サークル・メーカー 最後まで祈り抜く人が見る奇跡』

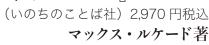




中間時代の祈りの人・ホニから、人生を変える 祈りの秘訣を学ぶ書籍です。全米でミリオンセ ラーになった話題作、待望の邦訳です。本書は とにかく、読めば、自分も祈りたい!祈るぞ!と 気持ちが高められます。私たちの能力や経済力を

超えている課題だからこそ、神様に委ねて祈るべきだと教えられ、 自分がいかに初めからあきらめて祈っていなかったか気づかされま す。2023年は本書と一緒に神様から与えられたビジョンを言葉に し、祈る | 年にしてみてはいかがでしょうか。信仰生活、祈りに前 向きになれなかった人才ススメです。

『おはよう!神さま 365 日の子どものディボーション』





ベストセラー絵本「たいせつなきみ」の著者 として知られるマックス・ルケードが、小学校中 学年以上の子ども向けに分かりやすく書いた 365 日分のディボーションブックです。

ひとりで読むのもよいですし、家庭礼拝や食

事の前に、お父さんお母さんと一緒に読んでみることもおススメで す。私も読んでみましたが、日常生活のあらゆる場面に、神様の 恵みがあることが伝わり、日曜だけでなく平日も神様を身近に感 じられるようになりました。

2023年は、大人も子どもも本書と一緒に御言葉に親しむ生活 を始めてみてはいかがでしょうか。

> いのちのことば社営業本部長・前橋ハレルヤブックセンター支援委員 後藤 崇広



※キリスト教書や CD,DVD の献本・献品を受 付けています。

※買取りではございませんので、ご了承ください。



新年度からはじめてみませんか

定期雑誌をはじめ CS 教材、ディボーション テキストなど取り揃えております。

年間購読予約も承っております。-

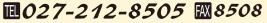




く編集後記> オンラインと聞くとパッと欲しい物 が「ひとりでに」手に入る、そんなイメージがありま した。けれど、今回オンライン文書伝道デー『ぶん でん』の取材の中で、一人の人が1冊の本と出会い、 それが手元に届くまでに、何人もの人が携わってい ることを知り、「ひとりでに」ではない「計らい」を 感じました。(S.Y)



前橋八レルヤブックセンター ●371-0016 群馬県前橋市城東町 2 丁目 5-3





^{営業} 11:00 ~ 17:00 || 休業日: 水曜·日曜·祝日